社会科　学習指導案

八尾市立龍華中学校

研究テーマ：学びへのスムースな導きと、学んだことを定着させ、深めるための授業

教科	社会科	学年・組	第３学年１組	場所	第３学年１組教室
単元名	企業の競争と独占の問題　（第３時／全９時）				
本時の目標	・企業はなぜ競争する必要があるのか、消費者への影響と結びつけて説明しよう				
本時の評価規準	・企業の競争や独占が消費者の生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し表現している。【思考・判断・表現】 ・企業が消費者に商品を選んでもらうための工夫について考え、表現している。【思考・判断・表現】 ・企業の競争が消費者の生活に与える影響について考え他者の意見も参考にしながら考えようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】				
本時の判断基準	評価の観点	A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	支援を要する生徒へのてだて	
	思考・判断・表現	企業の競争や独占が消費者の生活に与える影響について、企業の行動と消費者への影響を関連付けて考察し、表現している。	企業の競争や独占が消費者の生活に与える影響について、具体例を挙げて表現している。	商品の価格や種類などに着目できる資料を提示し、企業の競争や独占が消費者に与える影響を考えられるよう支援する。	
	主体的に学習に取り組む態度	企業の競争や独占について、他者の意見を参考にして自分の考えを深め、学習を振り返りながら課題に取り組もうとしている。	企業の競争や独占について、自分の考えを持ち、学習に取り組もうとしている。	商品の価格や品質、種類などの視点を示し、個人で考える時間を確保するとともに、他者の意見を参考にして自分の考えをまとめられるよう支援する。	

１．本時のめあてと、そのねらい

めあて	企業はなぜ競争する必要があるのか、消費者への影響と結びつけて説明しよう【探究・思考型】
ねらい *教材観、生徒観、指導観を含む	企業の競争は、商品の価格や品質などを通して、消費者の生活に影響を与えている。生徒は授業をきちんと受ける一方で、自分の意見に自信が無く、周囲に確認してから発言する姿が見られる。 そこで、身近な商品を題材に個人で考える時間や他者との意見交流を取り入れ、企業が競争する理由や独占・寡占が消費者に与える影響について考察し、自分の言葉で表現できるようにする。

２．期待する振り返りの好例（めあてを踏まえて）

企業が競争することで、価格が下がったり、商品の品質が良くなったりする。独占や寡占によって競争が弱まると、消費者が不利益を受ける可能性があるため、企業同士が競争することは必要である。

３．単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人や企業の経済活動における役割と責任、企業間の競争や独占について理解している。 社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について理解している。	個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し，表現することができている。 社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し，表現することができている。	個人や企業の経済活動における役割と責任について、よりよい社会の実現に向けて、主体的に考えようとしている。 社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、よりよい社会の実現に向けて、主体的に考えようとしている。

４．単元の指導と評価の計画

時	学習内容	評価の観点	時	学習内容	評価の観点
1	生産活動とそのしくみ	思・判・表	6	企業活動と景気の変動	思・判・表
2	株式会社のしくみと企業の社会的責任	知識・技能	7	働く意味と労働者を支えるしくみ	主体的
③ 4	企業の競争と独占の問題	思・判・表 主体的	8	変化する雇用のかたち	知識・技能
5	グローバル化する経済と現代の企業	主体的	9	女性の働く環境と高齢者雇用	主体的

５．本時の学習過程

	学習活動	◇指導上の留意点 〇理解の不十分な生徒への手立て	評価の観点 （評価方法）
	めあて：企業はなぜ競争する必要があるのか、消費者への影響と結びつけて説明しよう		
導入 （５分）	めあての確認 自分の好きな商品や、普段よく購入するものについて考える。 ★アイス ★お菓子 ★飲み物	≪予想される生徒の反応≫ 「コーラ」「ハーゲンダッツ」「ポッキー」 生徒にとって身近な商品を取り上げ、発言しやすい雰囲気をつくる。	

展開１ （２０分）	**◎企業が商品を選んでもらうための工夫について考える。** 好きな商品を選んだ理由について、グループで話し合い、意見を発表する。 企業が利益を得ようとする理由について考え、資本主義経済の仕組みを理解する。 企業は商品を選んでもらうために、競争をしていることを確認する。	≪予想される生徒の反応≫ 「値段が安いから」「美味しいから」 商品を選ぶ理由について、多様な意見を出させ、価格や品質などに着目させる。	商品を選ぶ理由について、グループで意見を共有しているか【思考・判断・表現】
展開２ （２０分）	**◎企業間の競争が無くなった場合について考える。** 商品を販売する企業が１社だけになった状況を想定し、企業側になったつもりで、消費者への影響を考える。 独占・独占価格について確認する。 寡占・価格カルテルについて確認する。	身近な商品の例を用いて、競争相手がいない状況を具体的に想像させる。 価格が上昇するとは限らないことに留意し、企業間の競争が無くなることで、消費者の選択肢や価格に影響が生じる可能性を考えさせる。 市場を支配する企業の数に着目させる。 価格カルテルのニュースを提示し、価格カルテルが消費者に与える影響に着目させる。	消費者に及ぶ影響について考え、自分の言葉で表現しているか【思考・判断・表現】
まとめ （５分）	本時の学習を振り返り、なぜ企業は競争する必要があるのかを『消費者』の語句を用いて、自分の言葉でまとめる。	企業が競争する必要性について、価格や品質・消費者への影響などを踏まえ、自分の言葉でまとめられるようにする。	競争が必要な理由を、消費者への影響と関連付けて自分の言葉で表現しているか。【思考・判断・表現】